

子ども食堂を応援しよう

の動き 広がっています!



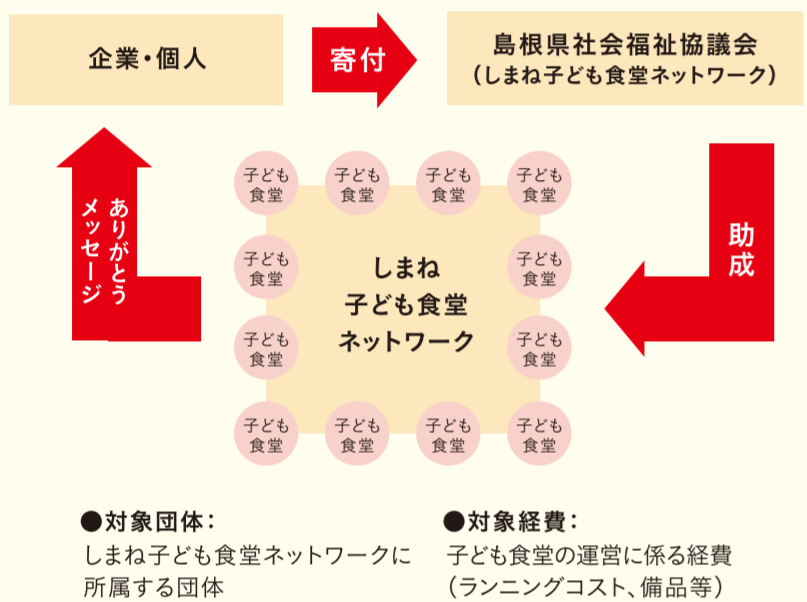
企業や個人…支援のココロを相互につなぐ

しまね子ども食堂応援助成事業

無料または低額で食事を提供する子ども食堂は、主に寄付や支援者の持ち出しにより運営していますが、コロナ禍や長引く物価高騰などの影響もあり、その多くが運営資金不足を課題としています。

一方で、企業を中心に子ども食堂への寄付を申し出る問い合わせは多く、それらを子ども食堂へ届ける県全域を対象とした仕組み作りが求められてきました。

県社協では令和5年度より「しまね子ども食堂応援助成事業」を創設。個人や企業からの善意を個々の食堂へ、利用者の感謝の声を提供者へ届けるパイプの役割を果たしています。



子ども食堂を応援したい！
しまね子ども食堂
応援助成事業ご案内



“おいしいお買い物”で支援に参加できる!

ゆめタウン・ゆめマート県内7店舗

島根県内のゆめタウン・ゆめマート7店舗（出雲、江津、浜田、斐川、益田、神西、YM浜田）を運営するイズミグループでは、おいしさと食の安全にこだわる人気の総菜ブランド『zehi』1点販売ごとに0.1円をこども食堂応援企業・団体と食堂をつなぐ「認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ」に寄付。

また食品ロス削減企画「もぐもぐチャレンジ」では、キャラクター「もぐにい」シールがついた賞味・消費期限間近の商品を購入すると、シール1枚につき1円分を近隣の子ども食堂へ寄付。おいしく楽しいお買い物が支援につながります。



もぐにいキャラクター

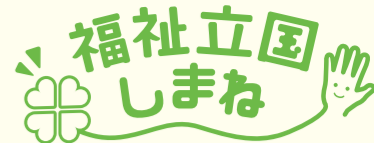
県内企業からの応援も広がっています

ジブラルタ生命保険株式会社松江支社

約2年前、県内の子ども食堂普及率が全国的に見て低いことを知り「何か役に立てないか」と県社協に問い合わせたのをきっかけに、具体的支援に乗り出した同支社。寄付金のみならず、人手が足りないという現状を知った社員らが声をかけ合い、松江、出雲、浜田、益田の各営業所で、それぞれの地域の子ども食堂の調理や配膳の手伝いにも参加しています。「積極的に参加して社員みんなで地域貢献をしたい。また、これを機に全社全体での取組みに広めていけたら」支社長・東 裕介さんの温かな言葉が地元企業の思いを代弁します。



キッズキッチンじょうほく（松江市）でのひとコマ



島根県社協

暖だより

DANDAN DAYORI

人・そだて
人・ともに
人・くらす
まち
わが島根づくり

地域力でますます広がります！「子ども食堂」

子どもを中心とした地域の新たな「居場所」として10年ほど前から活動が始まった「子ども食堂」。県社協では「しまね子ども食堂ネットワーク」を設置し、支援者・運営者をサポートしています。県内の現状とこれからの展望について、島根大学人間科学部講師・佐藤桃子先生にお聞きしました。

●「子ども食堂」とは

おおむね18歳未満の子どもに対し、営利を目的とせず無料または低額で食事等を提供する居場所のことをいい、島根県内では令和5年11月時点で98箇所が開設されており、増加の動きが継続して見られます。「3年前は箇所数において全国で最下



松江市「なないろ食堂」の様子

位だった県内の子ども食堂ですが、昨年度は2・5倍に増え、なんと全国一の伸び率となりました。島根県はもともと地域レベルの公民館活動などが活発。子ども食堂は有志複数人で任意団体を作って立ち上げる例が多いですが、こうした活動への支援を組織化する下地があったことが成果につながりました」

●「食を真ん中に、互いへ心をかけ合う場所」
近所に暮らす異なる世代間がお互いの顔を知り、交流を深められる場所は、子どもはもちろん大人の安心にもつながります。「子どもがオープンに足を運んで、地域の大人たちで見守れる活動があれば、そこがもう一つの居場所になる。大人にとっても、地域の人と顔を合わせ、安心を分かち合える場所になれると考えます」

高齢者や学校に行きにくい子どもたちが他者とのつながりを感じられ、季節行事やそれにまつわる食文化を次世代に伝える役割にも注目したいところ。子ども食堂には多様な可能性が広がっているのです。

島根大学 人間科学部 講師
佐藤 桃子先生
「地域社会と子ども」をテーマに児童福祉・子育て支援を研究。島根県内の子ども食堂のより良い事業実施に向けた「しまね子ども食堂応援会議」委員。

近くの子ども食堂へ行ってみよう！
しまね子ども食堂 ホームページはこちらから
<https://www.shimane-kodomo.jp/>

地域に役立つ取組を紹介しています！ よりよい地域福祉をすすめるために 社会福祉法人が多様な地域貢献活動を実施しています。

老人ホームや保育所などを運営する社会福祉法人は、施設の利用者だけでなく地域に暮らす方々の福祉ニーズに応えるため、社会福祉法人の自主性、創意工夫による様々な地域貢献活動を行っています。



現在、県社協のホームページで具体的な取組を紹介しています。
<https://www.fukushi-shimane.or.jp/works/social/139>



島根県社会福祉協議会（県社協）は県全体をひとつの「まち」ととらえ、ここで暮らす一人ひとりを大切に、福祉の人材育成や子育て支援、地域住民や団体同士のネットワークづくり、そして住民が支え合いながら安心して暮らせる地域づくりを推進するために、さまざまな活動を行っています。今回は「子ども食堂」の支援を紹介します。

読者プレゼント

「障がい福祉事業所」で作られたオリジナル商品を抽選によりプレゼントします。

商品の購入をご希望の場合は、各団体の連絡先までお問い合わせください。



【応募方法】はがきに①希望商品名②郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号③「暖だより」の感想を記入。または右記の二次元コードからご応募ください。【応募先】島根県社会福祉協議会（左記住所）「暖だよりプレゼント係」まで【締め切り】2月22日（木）必着【当選発表】当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※ご記入いただいた個人情報商品の発送のみに使用します。

5名 刺し子花ふきん
真っ白な晒しに色とりどりの模様をひと針ひと針心をこめて仲間が縫っています。台所仕事を彩る華やかな布巾。丈夫で長く大切に使えるのも魅力です！
※いずれか1つ（柄は選べません）
障害者自立支援事業所さささんか 大田市仁摩町天河内822 TEL 0854-88-3342

5名 莓のコンフィチュール
島根県産のいちごを使用し、果実のおいしさを味わえるよう甘さ控えめに仕上げました。大きめの果肉がゴロゴロ入った贅沢なコンフィチュールです。
障がい者就労支援事業所 エルパティオ三葉園 出雲市東郷町175-4 TEL 0853-62-0061

5名 ドリップバッグセット
3種類の豆をバランスよくブレンドしたこだわりのコーヒー。あと口にキレのある爽快感。華やかでありながら、爽やかな味わいです。
ワークわの木江津事業所 森のレストラン 江津市江津町1110-20 TEL 0855-52-2822

5名 社会福祉法人 島根県社会福祉協議会
〒690-0011 松江市東津田町 1741-3
いきいきプラザ島根 5階
TEL. 0852-32-5970 FAX. 0852-32-5973
E-Mail shakyo@fukushi-shimane.or.jp

子ども食堂を運営したいみなさんへ 「始めたい」を助け互いに学ぶ 並走型サポート アドバイザー派遣事業

安心して子ども食堂を始めるために、食堂運営者に直接相談できるのが同事業。松江市内「なないろ食堂」の吉川郁子さんもアドバイザーの一人。「開設から7年目。もともと地域とは接点がなく、最初は参加者・スタッフ集めに苦労しました」と手探りだった当時を振り返ります。

「食堂をやってみようと思ったら、行動を起こすことが大切。助けになる窓口もあります。お互い『こんなふうにしてよ』と気軽に話せるこの事業もその一つでは」。アドバイザーの方が教わることも多い、と吉川さん。肩を並べて、よりよい食堂が育っていくんですね。



なないろ食堂 吉川郁子さん

掲載

公式サイト

Facebook

社会福祉法人 島根県社会福祉協議会
〒690-0011 松江市東津田町 1741-3
いきいきプラザ島根 5階
TEL. 0852-32-5970 FAX. 0852-32-5973
E-Mail shakyo@fukushi-shimane.or.jp